せせらぎ通信

令和７年９月３０日 発行
【第　１４２　号】
国土交通省　東北地方整備局
秋田河川国道事務所
子吉川出張所

畑中喜右衛門慰霊祭　～９月７日～

由利本荘市吉沢にある畑中喜右衛門碑前にて、慰霊祭が行われました。畑中喜右衛門は、吉沢地区の治水の恩人として現在に語り継がれており、毎年９月７日の命日に慰霊祭が行われています。畑中喜右衛門の碑は、農民たちが喜右衛門の遺徳をしのんで建てたもので、以下のような話が伝えられています。







・・・ときは万治元年（１６５８）、滝沢郷吉沢村（今の由利本荘市吉沢）では、子吉川のたび重なる洪水に人びとが苦しんでいました。

うちひしがれた村人たちの姿に心を痛めた名主（なぬし）・畑中喜右衛門は、川の改修をたびたび代官所に訴えました。しかし、代官はこれを強訴（ごうそ）として憎んで捕らえ、農民煽動（のうみんせんどう）の罪で打ち首の刑を命じたのです。

死にあたって喜右衛門は「我亡き後も霊魂はここにとどまり、必ず川の流れを変えるであろう」と予言した後、「子吉川のそばで生涯を終えたい」という希望により、川の見える芋ヶ台で処刑されました。

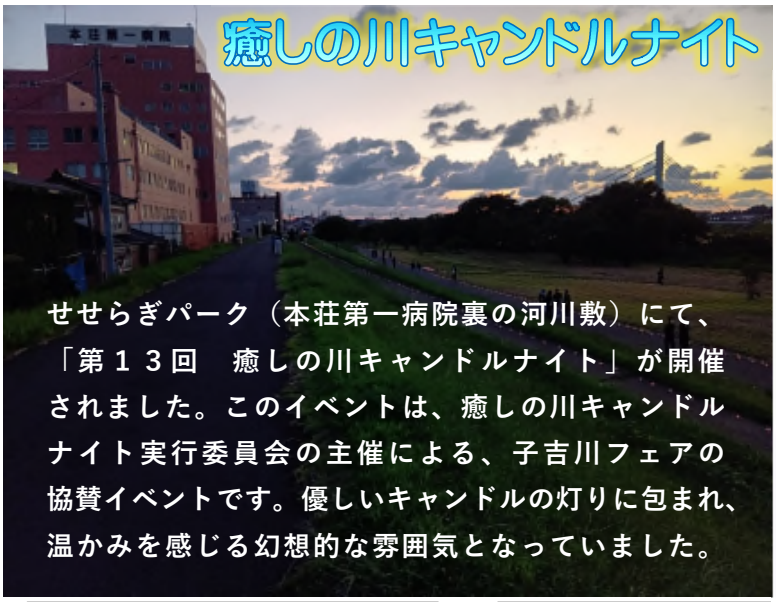
以来、夜ともなると川を掘る音や石を流す音が村中に響き、ついには豪雨が襲来し、濁流が押し寄せて氾濫、ごうごうと天地を裂くような音がとどろく大洪水になりました。ところが一夜明けて村人たちが駆けつけてみると、川の位置が変わり、流れもおだやかになっていました。

それからというもの、吉沢の田地は広々とした美田となり、現在の繁栄をみるようになったのです・・・

※参考文献『子吉川』

～川に命を捧げた名主の執念と治水の大切さを今に教えています～

癒しの川キャンドルナイト　～9月6日～



せせらぎパーク（本荘第一病院裏の河川敷）にて、「第１３回　癒しの川キャンドルナイト」が開催されました。このイベントは、癒しの川キャンドルナイト実行委員会の主催による、子吉川フェアの協賛イベントです。優しいキャンドルの灯りに包まれ、温かみを感じる幻想的な雰囲気となっていました。













◆インターネットで「雨量データ」や「水位データ」等を提供しています。
◇パソコンから→https://www.river.go.jp/
◇スマホなど→『川の防災情報』で検索

◎ご意見・問い合わせ先 ⇒ 子吉川出張所『せせらぎ通信』担当
住所：由利本荘市石脇字田尻２９　　電話：０１８４－２２－６３６０
ホームページ：https://www.thr.mlit.go.jp/akita/branch_office/koyoshi/
または、「子吉川出張所」で検索